

はぐ便り

2026年
6月号
【第129号】

体験活動していますか？

皆さんのお宅では、お子さんはどのようなことをして過ごしていますか？「体験活動」と聞くと、習い事を始めたり、自然の中でキャンプに出掛けたりすることを想像して、ハードルが高く感じる方もいるかもしれません。「体験活動」は、日常生活の様々な場面も含め、「やろう」という気持ちを引き出し、「分かる（気づく）」ことができる子どもの成長を促す大きな糧になるものです。

今回は、子どものうちに体験してほしいことを御紹介します。家庭でできること、お子さんが興味あること、簡単に楽しくできるものからで構いませんので、ぜひこの夏、何か一つ始めてみてはいかがでしょうか。

体験活動

自然体験・集団活動
地域行事・社会貢献
職業体験・文化芸術体験
科学体験・国際交流体験

魚釣り。星空の観察。★

地域のゴミ拾い、花壇の世話、募金などのボランティア。
工場見学、農業・漁業体験イベントへの参加。
音楽や演劇など芸術鑑賞、スポーツ観戦。
伝統文化やものづくり体験教室への参加。
科学実験、プログラミング教室など。



生活習慣

規則正しい生活・遊び
お手伝い・家族行事
運動・読書・探究学習
動植物とのふれあい

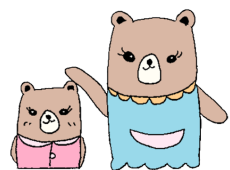
早寝、早起き、朝ごはん。
おにごっこや公園の遊具での遊び。
公園で虫を捕まえ飼育する。植物や野菜を育てる。
家の中の掃除や整理整頓、食器の準備や片付け。
家族の誕生日のお祝いや季節の行事をする。
スポ少・スポーツ教室への参加。



人との関わり

家族との関わり
友達との関わり
先生との関わり
地域との関わり

地域や子ども会の行事に参加。
異年齢での交流や地域の大人との交流。
家族・先生・地域の方にほめられる、
認められる、叱られる、注意される。
友達と遊ぶ・けんかする。きょうだいの世話をする。



「社会を生き抜く力（へこたれない力、意欲、コミュニケーション力、自己肯定感）」を身につけた大人になるためには、子どもの頃から様々な活動に挑戦し、多様な経験を積み重ねていく必要があります。周りにいる大人は、子どもの生活環境の中に意図的、計画的に多様な体験の場や機会を作っていくことが大切です。

【参考】国立青少年教育振興機構「子どもの成長を支える20の体験」、「社会を生き抜く力」

盛岡市公式ホームページでは、「体験・学習・研修施設」、「体験学習」、「イベントカレンダー」に、東北ターボこども科学館や区界高原少年自然の家、図書館等の施設の情報や講座の案内が載っています。また、最寄りの公民館でもお子さんや親子を対象とした講座を開催していますので、夏休み前に気になる講座を確認してみてください。



盛岡市家庭教育情報通信『はぐ便り』2026年6月号
【第129号】 令和8年6月16日発行
発行者・問合せ：盛岡市教育委員会 生涯学習課
住所：盛岡市津志田14-37-2 TEL:019-639-9046
E-mail:edu.sgs@city.morioka.iwate.jp

